

東北 VALUE SIGHT 山形



鶴岡市長
榎本 政規 (えのもと・まさき)

1991年 鶴岡市議会議員
2003年 鶴岡市議会議員
(2005年 市町村合併)
2005年 鶴岡市議会議員、議長就任
2009年 鶴岡市長就任 現在に至る

鶴岡市ホームページ
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>
鶴岡食文化創造都市推進協議会ホームページ
<http://www.creative-tsuruoka.jp/>

山形県内には数多くの在来作物が残っているとされており、その中でも鶴岡市には特に多く存在するという。在来作物をはじめとして、豊かな食文化がはぐくまれている鶴岡市であるが、このたび、日本で初めてユネスコ食文化創造都市に認定された。地域資源を十分に活用した取り組みについて、今後も期待したい。

ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟と食文化創造都市の推進

食文化創造都市推進の意義

鶴岡市がまちづくりの柱としている「鶴岡ルネサンス宣言」では、市民・地域と行政の協働により「創造文化都市」「観光文化都市」「学術文化都市」「安心文化都市」「森林文化都市」の5つの文化都市づくりを進めることとしている。このうち「創造文化都市」は、さまざまな地場の資源を生かして産業や文化など鶴岡市の持つ可能性を伸ばすことを目標としており、その中で、農林水産業の6次産業化などの重要課題と並ぶ形で「食文化創造都市の推進」を打ち出している。

鶴岡市では、先人の努力で継承されてきた食文化が貴重な地域資源となっており、これを活用することで幅広い産業分野への効果の波及が期待できる。また日常生活を通じてすべての市民がかかわりを持つ食を取り上げることで、広範囲の市民の参加を得た取り組みとすることもできる。そのような考えのもとで、鶴岡市は平成23年度から食文化創造都市の推進に向けた各種事業を展開してきたが、その中で、市民・事業者の意識高揚を図るための象徴的な取り組みとして、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を推進してきたものである。

ユネスコ創造都市ネットワークとは

ユネスコの創造都市ネットワークは、創造的な産業の成長により文化の多様性保護と世界の持続的発展に貢献しようとする都市が、国際ネットワークの中で連携した活動を行うことを目的として平成16年

に創設された枠組みであり、現在は鶴岡市を含め69都市が加盟している。加盟をめざす都市は、文学・映画・音楽・クラフト&フォークアート・デザイン・メディアアート・食文化の7分野から1つを選んで申請することとなっている。

鶴岡市は昨年12月1日に食文化分野での加盟が認定され、今年2月15日には海外からの賓客も招いて記念式典を挙行了した。一昨年の12月に、「和食」がユネスコ無形文化遺産に認定されたことに続き、鶴岡市が日本で初めて「ユネスコ食文化創造都市」に認定されたことは非常に名誉なことと考えている。

鶴岡食文化の特色と市の事業展開

鶴岡市は変化に富んだ地形と豊かな四季がはぐくんだ山・里・海の食材に恵まれており、また家庭で伝えられた郷土食や行事食、日本酒や菓子など食の多様性が大きな財産となっている。中でも世界的な特徴は、だだちゃ豆などの「在来作物」が50種類も継承されており、また出羽三山の修験道や黒川能などの精神文化とかかわる食が伝えられていることである。人材面でも、多くの農林水産業者や料理店とともに、世界で活躍するシェフや料理人、また山形大学農学部などの研究機関に恵まれている。加えて日本の学校給食発祥の地であって、現在も学校給食などでの食育が盛んなことも特徴である。

こうした食文化を生かした取り組みを進めるため、

鶴岡市は平成23年に産学官民の連携のもとで「鶴岡食文化創造都市推進協議会」を設立し、これを主体としてユネスコへの加盟申請を行うとともに、産業・生活・文化・交流の各方面にわたる各種プロジェクトを展開してきている。

まず産業面では、昨年に初開催した「庄内酒まつり」のほか、市内の飲食店などで旬の料理を提供する「鶴岡のれん」の取り組み、また市内の食文化を来訪者に紹介する「鶴岡ふうどガイド」の養成などを行っている。また市民生活の面では、子どもの食育や家庭の食生活の向上、また農林水産業への理解促進による地産地消の取り組みを進めている。文化面では、鶴岡食文化の価値を伝えるレシピ集を発行して市の内外で好評を得ており、この1月には山菜とキノコを扱った「めぐみの味」を発刊した。また交流の分野では、ユネスコ創造都市ネットワークのほか国内の創造都市との間でも有益な交流を進めてきている。

食の理想郷をめざして

鶴岡市にとってこのたびのユネスコ認定はゴールではなく、食文化創造都市の推進に向けた新たなスタート地点となるものである。

今後の展開として、まずはネットワークを通じて創造都市の推進に係る情報やノウハウを世界と共有し、これを今後の政策に生かしていく。またユネス

コ認定を受けて高まった情報発信力を生かして、鶴岡食文化の魅力を国内外に強力にアピールしていく。今年開催される2015年ミラノ国際博覧会（ミラノ万博）への出展は、そのための絶好の機会になると考えている。

同時に、従来からの取り組みを一層強力に推進し、農林水産業や食品加工、飲食、観光など広く食関連産業の振興と人材育成を進めていく。また市民が日常生活を通じて鶴岡食文化に親しみ、地元への愛着をはぐくむための施策も重要であり、こうした事業展開が本市の定住促進にもつながると考えるところである。

ユネスコの目指す「創造都市」とは、「市民一人ひとりが創造的に活動する都市」のことである。その実現のためには行政のみならず市民・事業者の協力と参加がぜひ必要となることから、まずはすべての市民が「世界の食文化創造都市」に誇りを持ち、それぞれの立場で、より一層の充実した食文化を目指した取り組みを進めてもらえるよう働きかけていきたい。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



CITY OF
GASTRONOMY
TSURUOKA

Designated
UNESCO Creative City
in 2014

ユネスコ創造都市公式ロゴ